

平成 15 年度「特色ある大学教育支援プログラム」
採択取組の概要および採択理由

大学・短期大学名	秋田大学	整理番号	1-3-072
応募テーマ	主として教育方法の工夫改善に関するテーマ		
取組名称	三学部連携による地域・臨床型リーダー養成		
申請単位	大学全体		
申請担当者	石川 三佐男		
<p>(取組の概要)</p> <p>今回の取組は平成 10 年度に行った学部改組と全学教育改革を起点としている。その目的は、三学部連携体制を確立し、フィールドインターンシップ型授業を推進して、地域・臨床型リーダーを養成することである。</p> <p>三学部連携を支えるのは、学部間の人的交流と相互乗入れ授業、学内外の支援組織、及び学長裁量経費等による支弁であり、また継続的に行っている全学挙げての FD 活動である。フィールドインターンシップ型授業は、学外実習と現場体験を融合し、「知と体験の再構築」を図ることを特色とする。これによって養成される人材は、地域を実践的視点から理解し、新たな発想の活用を通じて、地域社会の発展に臨床的に貢献できるリーダーである。その結果、「地域活性型リーダー」や「地域交流型リーダー」を生み出しており、学生、地域、及び外部評価機関から高い評価を得ている。</p> <p>なお、本取組は高等教育プログラムとして、共有性があると考ええる。</p>			
<p>(採択理由)</p> <p>この取組は、秋田大学の課題である「環境と共生」を実現するため、「フィールドインターンシップ型授業」による「地域・臨床型リーダー養成」を基盤にし、教育科学部、医学部、工学資源学部の三学部の連携を目指すものです。実質的に平成 10 年から始められた取組ですが、各学部がそれ以前から地域と構築してきた蓄積によって実を結んだ優れたプログラムです。大学生の社会性の欠如が指摘されていますが、地域のリーダーとして活躍している姿は地域との連携における大学教育の可能性を拡大しています。人材開発においても、地方大学としての成果をあげており、他大学に十分に参考になる事例といえます。</p>			